

◇編集後記◇

2009年の産業衛生学雑誌, Journal of Occupational Health (JOH)も最終号の発刊となりました。「編集委員会からのお知らせ」(本号 A91 ページ)でもご紹介しておりますが, 今年の編集委員会活動からいくつかご報告をさせていただきます。

まず英文誌 JOH ですが, 投稿論文数は昨年と同程度で推移しています。しかしインパクトファクターは, 1.597 (2007年) から 1.209 (2008年) に低下しました。編集委員会でもさまざまな積極的な対応を計画しておりますが, 会員の皆様が英文論文を公表される折には, JOH の論文を引用いただけますと幸いです。なお JOH の投稿規定は 2010 年 1 月から一部改訂されます。大きな点は, Short Communications および Rapid Communications の論文種別を廃止し, 新たに Brief Reports という論文種別を新設し一本化したことです。同一内容での Originals としての再投稿は認めておりませんので, ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお JOH に関しましては来年度中に Web からの投稿・編集システムを刷新する計画です。JOH 発展の新たな一歩となることを期待しています。

和文誌「産業衛生学雑誌」への投稿数は本年増加し,

深く感謝しております。さらに今回, 和文誌に掲載された論文を対象として「産業衛生学雑誌優秀論文賞」を設置することが決まりました。これは, 「第 2 回編集委員長と話そう」(2009 年 5 月 22 日, 福岡) でいただいたアイデアをもとに編集委員会で準備を進めてきたもので, 会員の皆様との共同作業の成果とも言えるものです。本年分の掲載論文を対象に審査を開始し, 来年の総会(福井)で表彰させていただく予定です。これを機会に, 産業衛生学雑誌への原著, 調査報告(良好実践事例含む), 症例報告, 話題(ご意見や問題提起を含む)の一層のご投稿をお待ちしております。また, これ以外の和文誌の活性方策として, 来年 1 月から心身医学に関する短期連載を, またその後には「産業保健温故知新」と名付けた連載を計画しております。楽しみにお待ちしております。

本年 11 月の第 19 回産業医・産業看護全国協議会(秋田)でも第 3 回を開催させていただきました「編集委員長と話そう」は, 来年の総会(福井)でもぜひ続け, 会員の皆様との対話の上に編集委員会活動を展開したいと考えております。来年もひきつづきどうぞよろしくお願いいたします。

(川上憲人)

正誤表

産業衛生学雑誌 51 巻 4 号 P.A48

参考 第 18 回産業医・産業看護全国協議会

収入合計 9,745,050 円 → 10,293,989 円

支出合計 9,745,050 円 → 10,293,989 円

差引残高 0 円

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長: 川上憲人(東京大)

副委員長: 荒木田美香子(国際医療福祉大), 井上和男(帝京大), 上島通浩(名古屋大),

車谷典男(奈良医大), 堤 明純(産業医大), 福島哲仁(福島医大), 森本泰夫(産業医大)

有澤孝吉(徳島大), 石竹達也(久留米大), 市場正良(佐賀大), 小笹晃太郎(放射線影響研究所), 掛本知里(東京女子医大), 川口陽子(東京医歯大), 熊谷信二(大阪府公衛研), 黒沢洋一(鳥取大), 河野公一(大阪医大), 酒井一博(労働科学研), 榊原久孝(名古屋大), 澤田晋一(独法労働安全衛生総研), 塩飽邦憲(島根大), 菅沼成文(高知大), 笠島 茂(国立保健医療科学院), 埴田和史(滋賀医大), 竹内 亨(鹿児島大), 田中昭代(九州大), 谷川 武(愛媛大), 土井由利子(国立保健医療科学院), 中尾睦宏(帝京大), 橋本英樹(東京大), 馬場園明(九州大), 濱田篤郎(海外勤務健康管理センター), 丸山総一郎(神戸親和女子大), 三木明子(筑波大), 村田勝敬(秋田大), 森 満(札幌医大), 森河裕子(金沢医大), 八幡勝也(産業医大), 吉田貴彦(旭川医大), 若林一郎(兵庫医大), 渡辺博且(産業医大)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1 丁目 29 番地 8 公衆衛生ビル 4 階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番